授業科目 日常生活活動学 [

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	理学
小林量作	開講時期	前期	必修·選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要·一般目標:GIO】

- 1. ADLについての基本的な知識を習得している。
- 2. 実習で接する代表的な疾患のADLについて学習している。
- 3. 問題点に対する目標設定、プログラム立案ができている。
- 4. 学生のグループ発表で学している。

【 学習目標・行動目標: SB0 】

- 1. 概念について理解している。
- 2. 評価について理解し、各種評価方法の特徴について理解している。
- 3. 起居・移動動作、身の回り動作指導について理解している。
- 4. 問題点を抽出し、プログラムを立案できている。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概念、範囲、分類	1	小林
2	ADL評価(総論)	2	小林
3	ADL評価(各種方法)	2	小林
4	ADL評価(各種方法)	2	小林
5	起居動作	3	小林
6	身の回り動作	3	小林
7	移動動作	3	小林
8	ADL問題点、目標、プログラム	4	小林
\vdash			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書	日常生活活動(動作)一評価と訓練の実際一	土田弘吉、他編	医歯薬出版	1992
少 与音	日常生活活動(ADL)	橋本 隆、他編	神陵文庫	1998
その他の資料	資料配付			

【 評価方法 】

出席、レポート、小テスト、期末試験

【 履修上の留意点 】 教科書の予習を必ず行う